

頭皮症状とプラセンタ注射後の不調を経て治療した成人皮膚炎の経過 (32 歳)

症例 ID：001-30-IH2 | 記録日：2014 年 10 月 19 日

1. 診断・治療前経過

2010 年夏頃、頭皮の頭頂部にかゆみを感じ始めました。秋以降もかゆみが引かず、我慢できないかゆみと後頭部のヒリヒリが出たため、近くの皮膚科を受診しました。

皮膚科ではステロイド外用薬が処方され、変化がないまま受診を続ける中でプラセンタ注射を 5～7 回ほど受けました。その後も症状は変わらず、強い倦怠感、帯状疱疹、お尻の神経痛、数日間寝込む高熱などがあり、2011 年 3 月頃に松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	頭皮症状に対して、近くの皮膚科でステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明。
強度	不明。
使用期間	2010 年秋頃から、松本医院受診前までの使用歴があります。
中止時期	症状に変化がなく、皮膚科にはそれ以降通わなくなりました。松本医院受診後の使用は不明です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
2010 年夏頃	来院前	頭皮の頭頂部にかゆみを感じ始めました。
2010 年秋以降	来院前悪化	我慢できないかゆみと後頭部のヒリヒリがあり、皮膚科でステロイド外用薬を使用しました。
その後	来院前	プラセンタ注射を 5～7 回ほど受けましたが症状は変わらず、強い倦怠感、帯状疱疹、お尻の神経痛、高熱がありました。
2011 年 3 月頃	治療開始	松本医院を受診しました。
通院 1 年目	経過中	頭皮のかゆみが強く、髪が薄くなるのではないかと心配するほどでした。
通院 2 年目	回復傾向	漢方薬を食前に飲むことが習慣となり、症状は少し落ち着き、かゆみが強い時期とそうでない時期が交互に来るようになりました。日常生活でも気になりにくくなりました。
通院 3 年目	経過後	ワークライフバランスが取れ、頭皮のかゆみはほとんどなくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、2010 年秋以降に頭皮のかゆみと後頭部のヒリヒリが強く、プラセンタ注射後に倦怠感、带状疱疹、神経痛、高熱が出た時期です。通院 1 年目にも頭皮のかゆみが強く、髪への不安がありました。

5. 困りごと

- ・頭皮の強いかゆみと後頭部のヒリヒリがありました。
- ・带状疱疹、お尻の神経痛、数日間寝込む高熱など、皮膚以外の不調も重なりました。
- ・通院 1 年目は髪が薄くなるのではないかと不安がありました。
- ・2 週間に 1 回、遠方まで通院する必要がありました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。

項目	内容
IgE	200 前後とされ、高い数値ではありませんでした。
水痘帯状ヘルペス関連値	50 以下とされ、高い数値ではありませんでした。

7. 経過のまとめ

2010 年夏頃から頭皮のかゆみが始まり、秋以降には我慢できないかゆみと後頭部のヒリヒリが出ました。ステロイド外用薬やプラセンタ注射を受けましたが、症状は変わらず、倦怠感、带状疱疹、神経痛、高熱も経験しました。

2011 年 3 月頃から松本医院へ通院し、通院 1 年目は頭皮のかゆみが強い時期がありましたが、2 年目には症状が気になりにくくなり、3 年目には頭皮のかゆみはほとんどなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。